

平成21年度行政評価制度に伴う市民意識調査（市民アンケート）で寄せられたご意見・ご要望の対応結果について、1月号から連載しています。今月号は子育て支援課・教育委員会で、最終回となります。



【子育て支援課】

高年齢者に対しては良い街づくりができてきているように思うが、子育て支援についてはまだまだ。他県より転入してきたため違いを感じる。

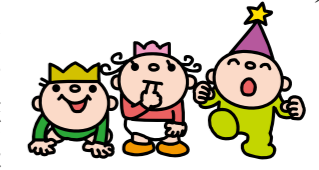
少子化・過疎化の中で、安心して子どもを産み育てる環境づくりは、重要な課題です。現在、次世代育成支援行動計画を策定しています。ご意見を集約し、次世代の社会を担う子育て支援に取り組みます。

他の市町村では3人目の子供にお祝金がある。保育料も3歳以上からだけでなく一律にしてほしい。

平成22年4月から、18歳未満の子どもが3人以上いる世帯の3歳未満児の保育料は半額、4人目以降は無料となります。

公園の設備が全くされていないので、屋内施設や屋外施設を作ってほしいです。保育所の老朽化もあるので、立て替えも必要になると思う。

公園などの公共施設整備は、「住みやすく、育てやすいまちづくり」のための重要な課題です。現在保育所では耐震診断を実施しています。今後、保育所、幼稚園など総合的な視点で取り組みます。



働く家庭では、子供が体調が悪い時に預けられるような所を作ってほしい。

病児病後児保育については、小児科医療の充実のため、導入を検討します。

子育て支援センターにミルクを作れる場所が欲しい。また、ベビーマッサージやリトミックなどイベントを増やして欲しい。無料できるとも会費を払い、毎月のイベントとすれば利用者が増えると思う。

子育て支援センターは、地域の交流の場としてご利用頂いています。調乳など別室の授乳室もありますのでご利用ください。種々のイベント開催など、今後も利用者のご意見を頂きながら取り組みます。また、特に有料は考えていません。

のみならず、学校、家庭、地域企業、行政等が共に手を結び、共に育てる「共育」の時代と考えております。

中学のスクールバスについて、馬路・佐野方面はでてるみたいですが、西山・馬場方面も考えてほしい。バス通学の子に、定期券代を負担しているのであれば、送迎の手段を考えるか、ガソリン代の負担を考えてほしい。

西山小学校区の生徒については、池田中学校区であるため遠距離通学補助やスクールバスの利用は対象外となっております。なお、現在市営バス・スクールバスは市内の主要幹線ルートを定期運行しており、その路線にあるバス停留所を利用し通学しております。しかしながら、馬場や西山など市内には最寄りのバス停から遠く離れた場所に、多くの集落が散在しているのが現状であるため、この度発足しました「三好市地域公共交通活性化協議会」において、こうした問題を検討してまいります。

子供の通っている学校の運動用具が十分でなく、



施設、設備も含めて子供の教育にお金を使って欲しい。高齢者は優遇されるのに、子供たちの環境には無関心である。

平成21年度当初予算における目的別歳出ベースで、公債費と民生費で歳出に占める割合が50・8%となっております。教育費は7・6%と5番目に位置し、引き続き教育費予算の確保に努めてまいりたいと考えております。なお、平成26年度中にはすべての市内の義務教育施設の耐震化を図る予定となっております。

市も学校も不審者に対する危機感がなさすぎる。他市区町村の話や聞き、研究すべきだし、お金もかけるべき。

すべての小中学校で、地域の実情に応じた危機管理マニュアルを作成していただきます。学校規模に応じて、防犯カメラの設置や、さらまたの常備も実施し、すべての小学校で保護者に下校時間を周知し、通学路の危険箇所を点検していただきます。現在5人のボランティアによるスクール

西井川地区に、幼児や児童が遊ぶ場所がほとんどない。ぜひ検討してほしい。今後の検討課題として取り組みます。

チャイルドシートの補助制度など、香川の方が補助が多く、子育てがしやすい。チャイルドシートの補助制度は今後の課題とします。

保育料金算定時の個々の年収の「幅」が広すぎる。平成22年4月から、保育料階層区分(1〜8)の内、3歳未満児については3・4階層の設定基準を細分化して保育料の軽減を図ります。

男女の出会いの場を提供し、婚活支援に市をあげて行うようにしてほしい。

男女の出会いの場の提供や婚活支援については、「さくら結婚サポートセンター」が事業を行っています。今後も支援や助成を行います。



ガードリーダーがほぼすべての市内小中学校を巡回し、指導助言にもあたっています。また、ほとんどの小学校では、警察署の安心メールにより、不審者情報や保護者に周知するとともに児童を対象にした防犯教室を実施しています。今後も学校における児童の安全確保に努め、地域のボランティアや自治会や警察署や関係機関を組織した体制強化に取り組めます。

小・中学校統廃合について市がリードしてもらいたい。地域の住人は存続を希望しているが、子供達の事を考えれば集合化した教育が有効。親は地域の中で、そう思っていても発言できない立場である。

学校は、その長い歴史の中で関わってきた全ての人が、地域社会とのつながりの中でつくりあげてきたものであり、同時にまちづくりや防災上の拠点としての機能も併せ持っているものであります。こうしたことから、統合にあたっては、保護者や地域住民の皆様のご意見を充分尊重しながら、学校・家庭・地域社会・行政が共通理解のもと一体となって進めることが重要と考えます。

【教育委員会】

子供の数が減り、学校の教育に不安がある。将来の本市教育のあるべき姿を明確にして、その実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進していくため、平成21年2月、「三好市教育振興計画」を策定いたしました。この計画の重点施策の1つに、適正規模・適正配置に向けた学校統合の推進が掲げられており、適正規模にあつては、複式学級の解消を主な目標として、小学校では概ね児童数60名規模を最低基準とした、統合の推進に努めてまいります。

教育に力を入れてほしい。どんな時代も必ず着目する点、人間の原点だと思う。人間力の劣化はすべての面において影響してくる。

三好市の学校教育においては「たくましく、未来にはばたく子どもの育成」をめざし、同時に学校教育を取り巻く教育環境の整備や学校教育を支える生涯教育の推進を図りながら、「生きる力」の育成に努めているところです。これからの子育てや教育は、学校や家庭

市の運営するスポーツなごあつたら出たいです。現在総合型地域スポーツクラブがあります。その中に、各種スポーツ教室や講座がありますので加入利用ができます。



市内に市営プールを作っしてほしい。

市内4か所にプールがあり、スポーツ振興計画策定をし、今後計画的に検討したいと思えます。

いけだスポーツクラブの講座に加入したが、人数がそろわなければ1年間その講座はないと言われた。それを途中で言われ、その講座しか参加できないので年会費を返してほしいと言ったが無理。入講の際に説明してくれないと困る。

当初の説明不足でご迷惑をかけた今後スポーツクラブとして誰でも、いつでも利用できるよう改善して参りたいと思えます。